

授業概要

この授業は、農業および森林・林業の概要を把握し、また生命科学、そして農業と森林の科学に関する一般的な知識を修得することにより、環境保全や持続的生物生産に対する理解を深めることを目標とする専門導入科目の一つです。



生物資源の科学 専門導入科目【農学部】

教員から



写真：森林科学科 教授 小林 幹夫

授業の中では農業・生物生産・生命科学に関する内容と森林・林業に関する基礎的な内容を学びます。

授業に先立って配布された資料集に基づいて授業が進められますが、教員が採取した試料や撮影した写真が授業中に紹介され、授業に臨場感を与えます。

授業の前半部分では、生物資源の進化に始まり、土壌の定義や成り立ち、世界の土壌分布、栽培植物の起源や種類、人の暮らしに関わってきた植物について学びます。続いて、家畜の起源や品種、生産や利用と課題等について幅広く学びます。

授業の後半部分では、世界の森林の分布やその特徴、森林の種類や形態、森林を形成する樹種とその特徴、森林の持つ多面的な機能、林業、野生鳥獣等について幅広く学びます。

このように、私たちの暮らしや環境を支える農業・林業や生物資源の重要性について幅広く学ぶことができるのがこの授業の特徴です。

生物生産科学科 植物生産学講座
教授 平井 英明

学生から

生物資源ということで、進化、土壌、植物、家畜、森林といった幅広い分野のことを学べたので興味深かったです。

私たちは、動植物等多くの種類の生物を利用してきたことと、それらを利用するためには環境や生物など多様な要因が関わっていることを知ることができました。また、これからこれらをうまく利用していくためには自然環境から利用することと、人が手を加えて継続的に利用していくことのバランスが重要なのだと考えさせられました。

生物生産科学科1年 齊藤 佳緒里

植物と土壌、家畜、森林という、どれも私たちの生活に関わっているが詳しいことは知らないものばかりだったので、現状を知るのには興味深かったです。特に、人間の快適さと自然保護を同時に成り立たせるのは難しいことが環境問題や飼料の話で理解でき、これからの私たちがどうやって環境と関わるべきか考えさせられました。

ただ森林の話は専門的な部分もあり、森林の種類や形態などはイメージが付きにくかった部分もありました。

生物生産科学科1年 三須 朱夏

